

佐保台地区 第3回 地域コミュニティワークショップ 概要

日時	平成27年8月29日(土) 13時30分～14時30分
場所	佐保台地域ふれあい会館
出席者	佐保台地区各種市民公益活動団体等 約35名

ワークショップの内容

1 開会

ファシリテーターを務める榊ひとまの宝楽陸寛氏から、前回の振り返りがあった。

2 市からのコメント

第1回及び第2回のワークショップで出された課題やそれに対する解決策等について、市からのコメントを伝えた。(詳細は別紙「意見一覧」参照)

3 意見交換(抜粋)

コメントに対する意見交換をした。その際に出た主な意見・課題は以下のとおり。

(1) 災害時を見据えた自治会未結成地域への市からの結成働きかけについて

※発言は○=地域 □=市

○：自主防は自治会から選出されたメンバーで運営をしており、災害時には自治会への加入・非加入に関わらず、避難してこられた方々に非常用の食料を配る必要がある。しかし、地区内には自治会が結成されていない地域があり、こういった現状を市としてもそのまましておかず、自治会結成に向けた働きかけをしてほしい。

(2) 平城山駅周辺の都市計画について

○：駅前開発については、佐保台地区以外の方(例えば木津川の方等)にも平城山駅で降りてもらえるようなまちにしていけないかという視点から考えていかなければならないと思う。

○：橋上駅舎では大抵の駅にエレベーターが設置されていると思うが、平城山駅は設置されていない状況である。設置実現には乗降客数等が関わってくるのか。

⇒□：駅の整備については構内、構外のいずれによるかでJRか自治体かその事業主体が変わってくる。市としては設置したいという考えがあるが、市単独での設置は財政的に困難であり、国の補助金等を使わないと難しい。その際には乗降客数や周辺人口といった基準が必要になってくるし、その理由で補助金がとれていない。

(3) リニア中間駅誘致に向けた市の取組みについて

○：リニア推進課は観光経済部にあり、JR奈良駅及び西大寺駅周辺整備事務所は都市整備部にある。両者を1つの部署にまとめることでリニア誘致に向けた取組みは今より進むのではないか。

⇒□：以前はリニア推進室が都市整備部にあった。今奈良市としては、観光人口・交流人口を増やすという観点から誘致に向けた取組みを進めている。したがって、駅周辺を整備することよりもまずは駅を誘致することに力を入れているため観光経済部にある。駅の位置が決まり、整備していくという段階になったら都市整備部に移るかもしれないが、現時点ではそういった事情で観光経済部にある。

4 まとめ

宝楽氏から3回のまとめがあった。

この3回のワークショップでたくさん意見が出されたことは大きな成果である。将来的に地域と行政が適切な役割分担もと協働して地域の課題に取り組んでいけるよう、まずは地域内のコミュニケーションをより深めていく必要があると思う。市からのコメントの後、意見交換を行ったことでまた新たな意見が出された。こういった繰り返しが今後の協働のまちづくりには必要である。

最後に、中口自治連合会長から挨拶があった。3回のワークショップを、地域自治協議会設立に活かしていきたい。これを契機に、地域内の各種団体の集まる機会を増やし連携をさらに密にしていきたいと思うので、皆さんのご協力をお願いしたい。

以上